

第5次レッドデータブック：
絶滅のおそれのある日本の野生生物

The 5th Red Databook, Threatened wildlife of Japan

オキナワスミレ

Viola utchinensis

日本植物分類学会

絶滅のおそれのある野生生物の選定・評価検討会 維管束植物分科会



環境省 編

令和7（2025）年3月



この文献はクリエイティブ・コモンズ 表示-非営利-改変禁止 4.0 国際ライセンスの下に提供されています。

<https://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/deed.ja>

種毎の解説を引用する場合には以下のように記述してください。

引用表示：日本植物分類学会. 2025. オキナワスミレ. 環境省（編） 第5次レッドデータブック：絶滅のおそれのある日本の野生生物.

Citation: Japanese Society for Plant Systematics. 2025. *Viola utchinensis* Ministry of the Environment, Japan (ed.), *The 5th Red Databook: Threatened wildlife of Japan*.

オキナワスミレ

*Viola utchinensis***カテゴリー判定結果** 絶滅危惧 I B 類 (EN) ACD 基準

平均減少率で減少したときの、25 年後の個体数が 250 個体未満。

評価分科会： 維管束植物分科会

基礎情報

【形態】

高さ 5-10 cm。地下茎は分枝伸長し、肥厚する。葉は心形、鈍頭、基部は深い心形。花は淡紫～白色。側弁基部は無毛、距は短く太い。蒴果は球形。

【生活史】

常緑多年草。

【生育環境】

海岸の石灰岩壁（隆起サンゴ礁上）に生育する。

【分布域】

沖縄本島に分布。

現在の生育状況

【生育地の現況】

2018 年調査では情報は得られなかったが、現状は 2007 年調査時と変化がないと推測される。沖縄島の 1 ヶ所に局在している。2006 年に大きな集団が新たに発見され、約 200 個体の現存が報告された。ACD 基準により EN とした。

現地調査の集計結果

 2007 年調査**【「現存する株数」別のメッシュ数】**

<10	<50	<100	<1000	<10000	>10000	合計	絶滅	その他
0	0	1	0	0	0	1	0	0

【存続を脅かす要因上位3項目の件数】

1 番目	2 番目	3 番目
要因		
件数		

特記事項

特になし

旧レッドリストカテゴリーと掲載名

第4次 2020:	オキナフスマレ	<i>Viola utchinensis</i>	EN
第4次 2019:	オキナフスマレ	<i>Viola utchinensis</i>	EN
第4次 2018:	オキナフスマレ	<i>Viola utchinensis</i>	EN
第4次 2017:	オキナフスマレ	<i>Viola utchinensis</i>	EN
第4次 2015:	オキナフスマレ	<i>Viola utchinensis</i>	EN
第4次:	オキナフスマレ	<i>Viola utchinensis</i>	EN
第3次:	オキナフスマレ	<i>Viola utchinensis</i>	EN
第2次:	—	—	—
第1次:	—	—	—

都道府県レッドリスト・レッドデータブック掲載状況（令和4年度末時点）

沖縄県[絶滅危惧 I A 類(CR)]

保護に係る法令指定状況（令和4年度末時点）

国内希少野生動植物種

参考文献

- 大橋広好・門田祐一・邑田仁・米倉浩司・木原浩（編），2016. 改訂新版日本の野生植物 3. 338pp., 264pls. 平凡社，東京.

アセスメントサマリー（Assessment summary）

Viola utchinensis has been assessed for threatened wildlife of Japan Red List 5th edition. *Viola utchinensis* is listed as EN under criteria ACD.

The number of individuals is less than 250 after 25 years based on the average rate of decline.

Threat types:	No Data
Law designation status for conservation	Endangered Species of Wild Fauna and Flora.

執筆者:	日本植物分類学会
Author:	Japanese Society for Plant Systematics

公表年月：2025 年 3 月